【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： NHL-102

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応
非ホジキンリンパ腫	CHOP療法	21～28日間	6～8コース	☐ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他

催吐リスク
高

根拠
N Engl J Med. 1993; 328: 1002-1006. Ann Oncol. 2002; 13: 1347-1355.

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	パロノセトロン	0.75mg	点滴静注	5分	↓																											
②	ドキソルビシン 生理食塩液	50mg/㎡ 100mL	点滴静注	10分	↓																											
③	オンコビン 生理食塩液	1.4mg/㎡ 50mL	点滴静注	5分	↓																											
④	エンドキサン 生理食塩液	750mg/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓																											
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																											
⑥	プレドニン錠	100㎎	内服		↓	↓	↓	↓	↓																							

＜注意事項/備考＞

✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
✓ DXR：アントラサイクリン系薬剤を使用した前治療歴確認、累積投与量500㎎/㎡以上で心筋障害発生リスク↑、 治療開始前には心エコー検査を
✓ VCR：1回最大用量は2㎎まで(副作用（神経毒性）の発現↑のため)
✓ CPA：十分な水分の摂取と頻回な排尿を心がける
✓